

夏の樹

第1号

2025.8.2 発行



速報『夏の樹』は、
HP「実行委員会からのお知らせ」
ページに掲載されます。

こころをつなごう 手をつなごう

あふれる笑顔と平和のために



保育・子育てのこと いっしょに学び
交流しましょう。

ようこそ。あつい群馬合研へ

開催地実行委員長 熊倉 慧



みなさん、ようこそ群馬にお越しくださいました。
私たち開催地実行委員会は、「全国が群馬に期待しているもの」、「群馬が全国に発信したいもの」、「楽しく学べる合研」、そして「子どもと大人がつながる合研」これらを踏まえて「群馬らしい」「つながる」をキーワードに準備をしてきました。ベテランから若手、保育士から保護者まで多くの人々が関わって、開催地実行委員会を作ってきました。本県での開催は、2011年の第43回大会以来の開催となりますが、前回に負けない大会に仕上がっていると感じています。

群馬県は内陸に位置し、夏はとて「暑い」地域です。そして、保育に対する想いや取り組みも「熱い」場所です。群馬には豊かな自然が多く、子育てには比較的適した場所であると思います。保育においても、様々な文化を取り入れた民舞や歌、リズム、保護者を巻き込んだ保育など特徴的なものもあります。

3日間、大いに学び、交流し、充実した時間を過ごしましょう。みんなの想いで、子どもたち、保育者、研究者、そして保護者に笑顔と平和を届けましょう。

あつい群馬で、熱く語り合いましょう

全国実行委員長 長瀬 美子

みなさん、群馬にようこそ。

現地実行委員会は、「群馬らしさ」を大切に、準備を進めてきました。

〈群馬らしさ その1 歌・音楽〉

群馬と言えば、歌・音楽。今集会でも、開会・閉会集会にこの伝統が活かされています。群馬の文化にたくさんふれて、その感動を実践に返していきましょう。

〈群馬らしさ その2 保護者とともに〉

開催地実行委員長が保育園の保護者 OB、立ち上げ集会で保護者から「保護者を置き去りにしないで」という発言が出るほど、保護者といっしょにつくり上げた集会です。これは、保護者とともに保育実践をつみかさねてきた蓄積の証です。

現地実行委員会のあつい思いに応え、みんなで熱く語り合いましょう。

260人の思いの
葉っぱは、どす



今回の合研に携わっている人たちの思いを
書いた一枚一枚の葉っぱは、この
夏の樹が生まれました。

＝ 群馬実行委員会によるオープニング＝

輝くこどもの歌

保育園にあふれるこどもの歌声と保護者をつなぐ沖縄エイサー

県内17園

子ども341人、大人42人

言+382人が

ステージで歌います。

- ・ちびあけうさぎのカルロス・ロサーノ
- ・夏の樹す 夏の風のうた
- ・めだかかには かしやごしょざわざわ
- ・木陰関車のうた

オープニングでエイサーを！

保育の中で、長年踊り続けられている日本各地の民族舞踊（民舞）。民舞を通して踊りの奥みやみんなが踊る気持ち良さ、その地域の文化や歴史も一緒に考え、学んできました。

沖縄の夏（旧盆）に踊られているエイサーもその一つ。教材として取り入れて踊っていく中で、「もっと、もっと。もう一回踊ろう」と素直な表情で声を掛け、くる子どもの姿があります。そして、沖縄を学び平和についても子どもたちと一緒に考えました。

「子どもたちが踊っているエイサーを踊ってみたい！」という保護者も入って、「子どもたちに平和を！」と、気持ちを一つに今日まで向かってきました。

司会です!!



良月読と合唱

「プロメテウスの火」

平和の願いを込めて

総勢115名でうたいます。

全保連のホームページに資料も
掲載されています。そちらもぜひご覧下さい。

＝開催地企画＝

ちいさいなかまの購読をしませんか?!

会場で申し込んでくれた方に

だるまのマスクットをプレゼントします!!

数に限りがありますので、お早めに
ちいさいブースまでお越し下さい



だいいいお知らせ

医務室(会場別)

■高崎アリーナ…1階本部横 ■Gメッセ…受付にてお声かけください ■共愛学園…4号館2階・4211

弁当ひきかえについて

8月3日の朝、各会場で弁当券を集めます。提出した会場で受け取ってください。

忘れ物のお問い合わせ

高崎アリーナ1階本部で預かっています。〈※8月3日は各会場の本部へお問い合わせください。〉

よろず相談

お困りごとがあれば、各会場の受付までお越しください。